

2.14×3.8を筆算でしよう。

【めあて】
 筆算のしかたを考えよ

10倍は小数点が右へ1けた
 100倍は小数点が右へ2けた
 1000倍は小数点が右へ3けた うつります。
 「0の数だけ右へうつる」と覚えるといいかも…!

小数点の位置

2.14	←100倍 →	214	……	右へ () けたうつる。
× 3.8	←10倍 →	× 38	……	右へ () けたうつる。
1712		1712		
642		642		
8.132	←1000倍 →	8132	……	左へ () けたうつる

$\frac{1}{1000}$ 倍

【考え方①】 214×38の積8132を $\frac{1}{1000}$ 倍にするから、

8132の小数点を左に () つ うつせばよい。

【考え方②】 2.14 $\frac{1}{1000}$ 倍のような分数倍の時は、0の数だけ小数点が左にうつりますね。

8132の小数点を () に3つつせばいい。

小数をかける筆算のしかた

① () がないものとして計算する。

②積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えてうつ。

2.14	→	右へ (2) けた
× 3.8	→	右へ (1) けた
1712		
642		
8.132	←	左へ () けた

整数×整数にするために、2.14を100倍、3.8を10倍にしていますね。

② 176×54=9504 をもとにして、次の積を求めましょう。

① 17.6×54

176が $\frac{1}{10}$ 倍になっているから、答え(積)も $\frac{1}{10}$ 倍になる。

② 176×5.4

③ 1.76×5.4

176が $\frac{1}{100}$ 倍、54が $\frac{1}{10}$ 倍になっているから、答え(積)は…

③ 正しい積になるように、積に小数点をうちましょう。

①	1.7	②	76.5
	× 2.3		× 8.3
	51		2295
	34		6120
	391		63495

④ 答えの見当をつけてから、筆算で計算しましょう。

①

②

③

4.37 はおよそ 4
 5.6 はおよそ 6
 4×6=24 なので
 4.37×5.6の答えはおよそ24になりそう。

④

はじめに見当をつけておくことで、答えがまちがっていた時に気づきやすくなります。
 およそ24になりそうという見当をつけていたのに
 答えが244.72になったらおかしいですね?
 答えが24.472になったら見当をつけた答えと近いですね。